

# 多彩なプロジェクトによって「京大力」を未来へ

支援者の皆様の期待に応えつつ、基金の有効活用と拡充を図る

## 京都大学基金へのご支援

京都大学では、支援者の皆様からの寄附金を本学の未来のために運用し、その運用益を拡充することを目指して2007年に「京都大学基金」を設立しました。現在、京都大学基金は、本学全体の教育研究・社会貢献のために活用する基金と、世界中から期待されているiPS細胞研究のさらなる発展のための「iPS細胞研究基金」や、若手研究者の後押しをする「本庶佑有志基金」、経済的困難を抱える学生を支援する修学支援基金など、特定のプロジェクトを支援するための基金(特定基金)から構成されています。同基金は設置以来、数多くの方よりご支援をいただいております。2023年度末現在、基金(特定基金含む)の受入残高は約593億円に達しています。この活用実績については「京都大学基金」のウェブサイトにおいて広く公開しています。また、クラウドファンディングなども活用し、医学部附属病院の新型コロナウイルス感染症対策などを支援しました。今後は、運用益の拡充に努めながら、産業界と学术界が相互に連携・協力し、多元的な課題の解決に挑戦する人材育成基金や、地球社会の調和ある共存に貢献するためのSDGs課題解決基金など、本学の卓越した知を活用した多様なプロジェクトを展開していきます。

京都大学基金のウェブサイト [www.kikin.kyoto-u.ac.jp](http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp)



## 株式会社京都製作所からの寄附による事業実施に合意

株式会社京都製作所(以下、京都製作所)より多額の寄附をいただき、本学において将来の機械系工学を牽引する優秀な若手研究者・技術者を育成するための支援事業を行うこととなりました。それに先駆けて、2024年1月31日に百周年時計台記念館において記者発表を行いました。大学の研究の国際競争力と発信力の低下が懸念される中、研究力のさらなる向上や将来の成長のためには、若手研究者を育成し研究活動を支援する、いわば「人への投資」が欠かせません。本事業は、京都製作所の支援のもと「人への投資」を基軸に、将来の科学技術・イノベーションを牽引する優秀な若手研究者の育成を推進する画期的な取り組みです。

今回の京都製作所からのご支援を通して、将来の機械系工学の発展の礎となる基礎研究を推進するとともに、その発展を担い、組織の壁を越えて協働できる優秀な研究者や技術者を育成・輩出することで、大学の知を産業界に繋ぎ、新たな価値の創出と社会課題の解決を目指します。



左から、湊長博 総長、橋本進 株式会社京都製作所代表取締役会長兼CEO



左から、立川康人 工学研究科長、稲垣恭子 理事・副学長、湊総長、橋本代表取締役会長兼CEO、木下喜平 株式会社京都製作所代表取締役社長兼COO、大西利幸 同常務執行役員

## 同窓会との積極的な連携

本学では、学部・研究科同窓会や地域同窓会、横断型同窓会など、各種同窓会組織との連携強化に取り組んでいます。京都大学このえ会は、社会で活躍している本学出身の女性が相互の関係を深めながら、ネットワークを新たに構築するとともに、京都大学の女子学生や女性研究者等へ緩やかな支援を行うことを目的として設立され、本学女子学生向けのイベントなどを企画しています。その他、本学では、従来より継続している同窓会の開催支援や毎年11月のホームカミングデイの開催などの活動のほか、同窓生向けオンラインサービス「KUON (Kyoto University One Network)」のコンテンツの充実に努めています。

京都大学KUONのサイト [www.alumni.kyoto-u.ac.jp/](http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/)



## 第18回京都大学ホームカミングデイを開催

第18回ホームカミングデイを、リアルイベントとオンラインのハイブリッド形式で開催しました。リアルイベントは2023年11月4日に開催し、同窓生(卒業生、修了生、元教職員)、教職員、学生、一般の方などのべ767名が参加しました。オンラインは2023年11月4日～30日に開催し、日本全国および海外も含め、1,247名のアクセスがありました。

百周年時計台記念館百周年記念ホールでは、卒業生で小説家の万城目学氏(法学部・2000年卒)による「京都を描くということ」と題した講演を行いました。学生時代の思い出や過去に本学で講演したときの話、また、久しぶりに京都を舞台に描いた最新作についての話がありました。音楽会では、京都大学応援団による演舞演奏、京都大学グリークラブの合唱、京大合唱団と同窓会合唱団による合唱を行い、大きな拍手が湧き起こりました。そのほか、施設見学やスタンプラリーも実施しました。

オンラインコンテンツでは、リアルイベントにて撮影した講演会での湊総長の開会挨拶、音楽会での応援団の演舞と合唱の動画を配信しました。他にも、「京都大学白浜水族館探訪」では、普段見ることのできない水族館のバックヤードの紹介、「懐かしい京大生協食堂の今昔」では食堂の懐かしい写真や歴史を振り返って説明するコンテンツを掲載しました。

